

北井上小学校 令和5年度「学校生活についてのアンケート」集計結果について

春の気配が少しずつ感じられる頃となってきました。保護者の皆さまには益々ご健勝のことと存じます。本年度も余すところわずかとなり、もうすぐ卒業式、続いて修了式を迎えます。1年間、本校の教育活動に多大なご支援ご協力をいただき、ありがとうございました。

さて、「学校生活についてのアンケート」には、多くの方からご回答をいただき、ありがとうございました。集計いたしましたので結果をお知らせします。



1 昨年度集計結果との比較による、成果として

- 95.1%の児童が「学習内容が分かっている」と感じています。
- 「読書が好き」と答えた児童が83.6%で、昨年度と比較して5.7%も増えています。アンケートでは初めて80%を越えました。表現力向上のため、ご家庭での読書習慣の定着にもご協力ください。
- 「タブレット端末を使うと、学習が分かりやすい」は89.3%、昨年度と比べ7.3%上昇し、タブレット端末の使用に馴染んできたことがうかがえます。ICT支援員と協力しながら、より効果的で円滑なICT機器の利活用に努めます。
- 「自分によいところがある」と思う児童は82%、また「自分のことを大切にしている」と思う児童は86.9%と昨年度から17.3%も上がりました。日頃からの人権教育や特別支援教育の取組が土台となり、子どもたちの自尊感情や自己肯定感が高まってきています。ご家庭でも「自分を大切にすること」について、お子さまとじっくりお話をさせていただきたいと思えます。
- 保護者の皆さまの回答率が昨年引き続いて非常に高く(93%)、本校教育活動に関心をもってくださっていることがよくわかりました。今後ともよろしくお祈いします。

2 課題として

- 「早寝・早起き・朝ごはんを守れていますか」の項目では昨年と比較して2.5%下がり、80%を下回りました。規則正しい生活リズムは学習にも大きな影響を与えるため、学校と家庭で連携して、しっかり身に付けさせたい課題です。
- 「家では決められた時間、学習に取り組んでいますか」では、児童は75.4%(前年度より1.7%減)、保護者アンケートではさらに低く56.6%(前年度より4.3%減)でした。基礎学力と学力向上のため、学習習慣の定着と学校での指導改善・充実に取り組む必要があります。
- あいさつは自分からできていると考える児童は79.5%で、目標数値の80%を割り込みました。ボランティア委員会を中心にしたあいさつ運動や、6年生による朝の挨拶ボランティア活動を継続しながら、あいさつの大切さを伝えていきます。
- 「火事や地震・津波が起こったとき、どう行動したらよいか分かっている」については、児童93.5%とかなり防災意識は育ってきています。しかし、保護者は69.1%で児童との意識に大きな差があるようです。能登半島地震の記憶も新しく、本校区においても地震・津波避難についての備えや話し合いは不可欠です。今後も家庭と連携した防災教育を進めていくことが大切だと考えます。

3 学校関係者評価委員会での意見

- 「宿題を必ずしていますか」(91.8%)は、目標指数を下回っているが、十分合格点であると思う。100%を目指すつもりで指導するのはありがたい。「大きな声で相手を見て、気持ちのよいあいさつが自分からできていますか」(79.5%)こそ、子どもたちが社会に出て行くことを考えて、100%を目指してほしい。挨拶は大人になっても大切である。
- 表現力については、小中学校ともに課題としているが、表現と一口に言っても、身体表現から文章表現と幅が広い。子どもたちが得意な分野を伸ばしてほしい。小学校から中学校、そして大きな環境の変化が起こる高校生活に向けて表現力を育成して行ってほしい。
- 一人一人の子どもを認め、寄り添っていくことを大切にしたい。特に小学校は、中学校へつなぐための指導を充実させてほしい。
- ゾーン30プラスの定着は、子どもたちにとって、自分という存在は地域から大切にされていると実感できるとともに、自分の命を大切にしようとする自尊心や自己肯定感の醸成につながっている。
- 合同防災訓練の実施については感謝している。ただ、能登半島地震を考慮すると、今後は地域の中心を担う人材である小中学生の育成を念頭に置き、小中学校が連携した訓練に取り組む必要がある。
- 学校行事のケーブルテレビ放映を望むが、著作権の問題もあるので関係機関の指示を仰ぎながら進めてほしい。

以上の課題を教職員一同が真摯に受け止めるとともに、改善に向け、次年度の教育活動およびPTA活動に取り組んで参りたいと考えます。そのためには、ご家庭のご理解とご協力が何より大切と考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。



4 来年度に向けた取組方針

- 「宿題を必ずしていますか」の目標指数はあくまでも100%を目指しますが、目標達成ばかりにとらわれることなく、質・量ともに十分考慮した内容の課題を出すよう工夫します。また、気持ちのよいあいさつに関しては、あいさつの必要性や意義について考える機会を設け、積極的に自分からあいさつできる子どもの育成に努めます。
- 表現力については、子どもの実態に応じ、文章表現と自己表現を軸に、子どもが得意な分野を伸ばします。そのために、文章を書く機会や自己表現できる場を可能な限り設定していきます。
- 学校の教育活動の様子については、各学年だより、ほげんだより等で知らせる他、学校ホームページでも情報の更新に努めます。PTAとも連携しながら保護者の声を聞き、どんな情報をどのように発信すればよいか工夫をしていきます。
- ゾーン30プラスにより、子どもたちの登下校の安全・安心はずいぶん確保されました。このことによる地域からの思いや愛情を実感できるよう、そして自身の生命を尊重する気持ちを育てていけるよう、道徳教育や人権教育をより一層推進していきます。
- 非常変災に備え、やがては地域の中心を担う人材となる小中学生の防災に関する知識を更新し、スキルを高めていけるよう、小中学校の連携による長期スパンでの人材育成を図り、地域防災の土台を築いていきます。
- 保護者や地域の声を聞きながら、子どもたちがいきいきと活動する活力ある「北井上小学校」となるよう、教職員が一丸となって取り組んでいきます。